取扱説明書

SANYO

冷凍冷蔵庫

品番 SR-F401K

もくじ

■この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。
■お読みになった後は、いつでも見られるところに保証書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意・・・必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになって、正しくお使いください。

●冷蔵庫を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項です。誤った取り扱いをすると生じる危険と、その程度を、「警告」と「注意」に表示しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

●表示と意味は以下のようになっています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性に結びつくもの	⚠注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生に結びつくもの

「禁止」（してはいけないこと）を表します。	水をかけたり、水でぬらさないでください。	ふれないでください。	分解しないでください。	必ずして欲しい行為を表します。	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	必ずアース線を接続してください。

⚠警告

冷媒について

冷蔵庫本体の冷却回路（配管）を傷付けない

可燃性の冷媒を使用していますので、発火・爆発の恐れがあります。

冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける

冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の恐れがあります。

庫内では電気製品を使用しない

冷媒が漏れていると電気製品の接点の火花で発火・爆発の恐れがあります。

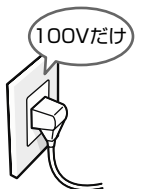
冷却回路（配管）を傷付けたときや可燃性ガスが漏れているのに気づいたときは、冷蔵庫にふれず火気の使用を避け窓を開けて換気する

電源プラグの抜き差しなど火花で発火・爆発し、火災ややけどの原因になります。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

電源プラグ、電源コードの点検

電源は交流100Vの専用コンセントを使う

100V以外では火災・感電の原因になります。

コンセントは15A以上のものを単独で使う

他の器具と併用したタコ足配線は発熱し発火の原因になります。

必ず実施

電源プラグは、ほこりを取り、刃の根元まで確実に差し込む

ほこりが付着したり、不十分な差し込みは、発熱し発火の原因になります。

電源プラグはコードが下向きになるよう差し込む

逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。

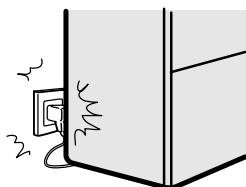
⚠警告

電源プラグ、電源コードの点検

電源プラグを冷蔵庫で押し付けない

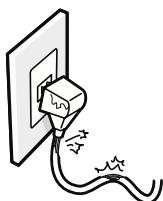
変形させたり傷を付けると、発熱し発火の原因になります。

電源コードは傷付けない

禁止

踏みつけたり、加工したり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりすると、電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

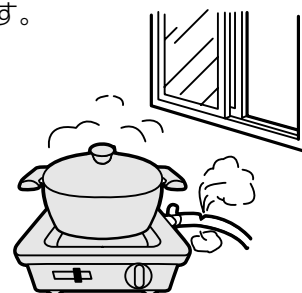
禁止

感電・ショート・発火の原因になります。

もしものとき

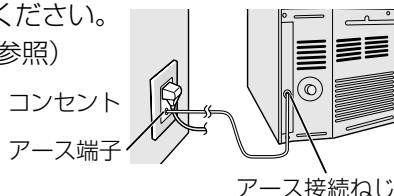
異常時（焦げくさいなど）は、電源プラグを抜き運転を中止する

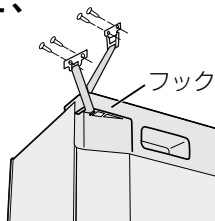
異常のまま運転を続けると、感電や火災の恐れがあります。

ガス漏れに気づいたら、冷蔵庫やコンセントには手をふれず、窓を開け換気する

冷蔵庫を開けたり電源プラグを抜くと、電気接点の火花等で引火爆発し、火災ややけどの危険があります。

据え付けのとき

アースをする

故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。アースの取り付けはお買上げの販売店にご相談ください。
(6ページ参照)

万一の地震に備えて、冷蔵庫を固定する

冷蔵庫が倒れるとけがの原因になります。
(5ページ参照)

保管できないもの

引火しやすいものは入れない

エーテル、ベンジン、LPガス、アルコール、接着剤などは入れないでください。爆発する危険があります。

医薬品や学術試料の保存はしない

家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

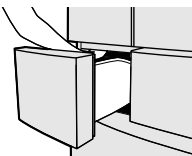
安全上のご注意・・・必ずお守りください

⚠警告

冷蔵庫使用のとき

禁止

アイスルーム上部にある自動製氷機の機械部には手をふれない（製氷ユニットをはずした場合を除く）

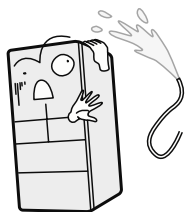
回転したとき、けがをすることがあります。

禁止

可燃性スプレーは近くで使わない

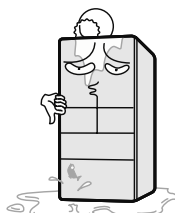
引火ややけどの危険があります。

禁止

水をかけない

電気部品に水がかかると、ショートや感電の恐れがあります。

禁止

上に水の入った容器を置かない

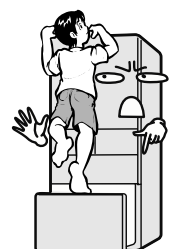
こぼれた水で絶縁が悪くなり漏電・火災の恐れがあります。

禁止

上にものを置かない

扉の開閉などで落ちるとけがをすることがあります。

禁止

扉にぶらさがったり、乗ったりしない

冷蔵庫が倒れたり、手をはさんでけがをすることがあります。

お手入れのとき

電源プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグを抜く

また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

修理、廃棄のとき

電源プラグを抜く

庫内灯を交換するときは、電源プラグを抜く

抜かずに行うと、感電する恐れがあります。

必ず実施

リサイクルの時など、保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は扉パッキングをはずす

再資源化のために、主なプラスチック部品には、材料名を表示しています。

禁止

分解したり修理改造は絶対にしない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

⚠注意

保管できないもの

禁止

冷凍室にビン類や缶類を入れない

中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

冷蔵庫使用のとき

必ず実施

引き出し式の扉を閉めるときは、とっ手を持って閉める

扉の上側を持って閉めると、指をはさみけがをする恐れがあります。また他の人が冷蔵庫の近くにいるときは、扉で指をはさまないように気を付ける。

禁止

食品をつめすぎたり、棚より前に出さない

また、背の高い倒れやすい食品は入れないでください。扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、けがをすることがあります。

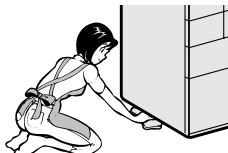
禁止

冷凍室内の食品や容器（特に金属製）にぬれた手でさわらない

凍傷になる恐れがあります。

禁止

後ろ側下部の機械部分（圧縮機など）や底面に手を入れない

運転中は熱くなるので、やけどの恐れがあります。また鉄板によりけががをすることがあります。

禁止

におったり、変色した食品は食べない

腐敗により、病気の原因になることがあります。

据え付け場所

禁止

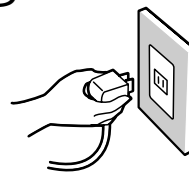
湿気の多い場所、水のかかる場所への設置は避ける

絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

電源プラグの抜き差し

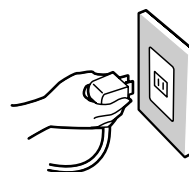
必ず実施

電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行う

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードが破損し感電やショートして発火する恐れがあります。

長期間使用しないとき

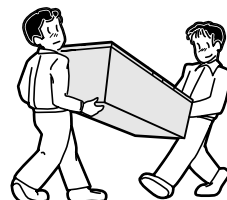
電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化などにより感電・火災の原因になることがあります。

運搬のとき

必ず実施

冷蔵庫を運搬するときは、底面と背面上部とっ手を確実に持って運搬する

手をすべらせ、けがをすることがあります。

禁止

傷付きやすい床の上では、移動車輪は使用しない

床材を傷付ける恐れがあります。

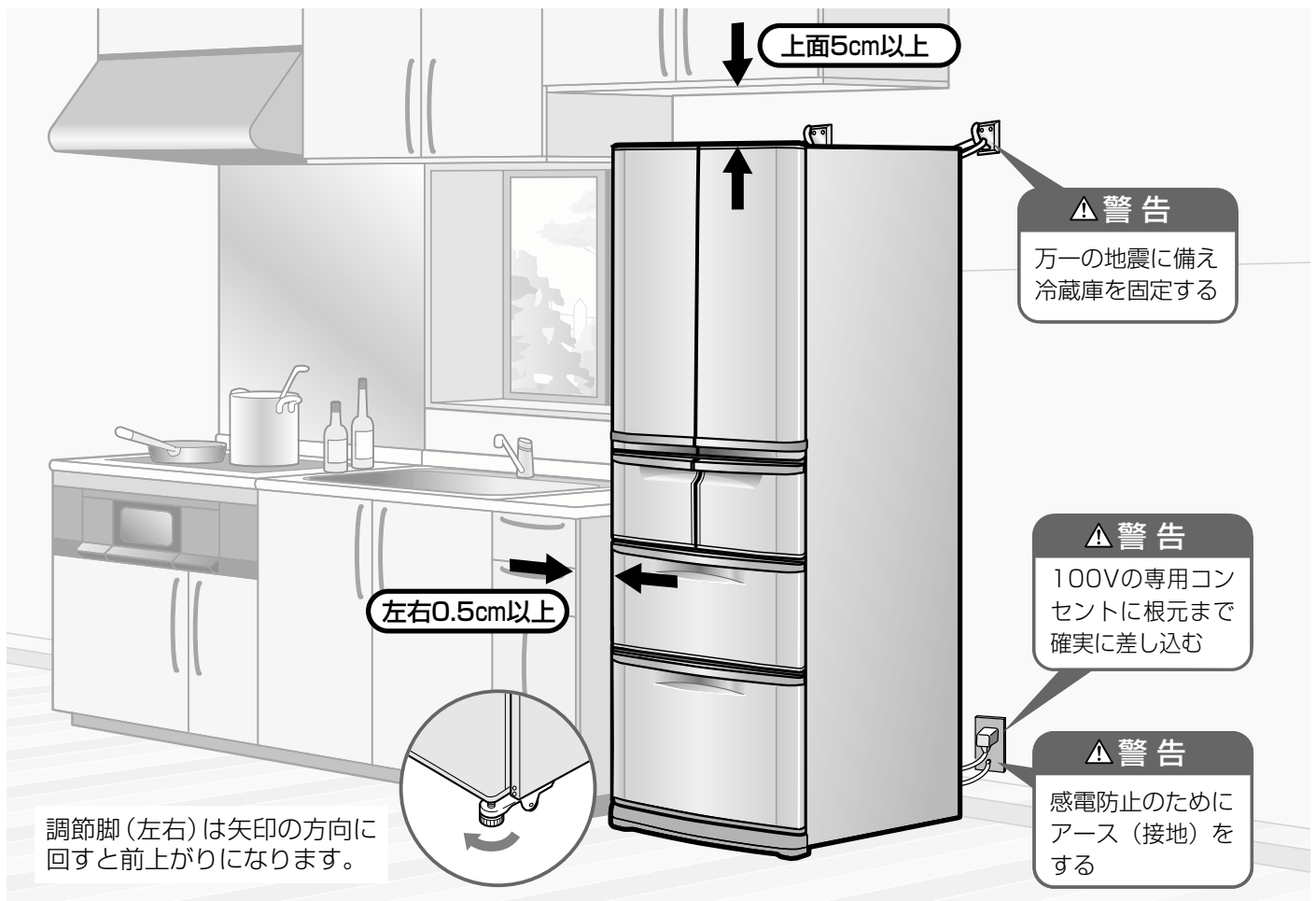
上面5cm以上

⚠警 告
万一の地震に備え
冷蔵庫を固定する

⚠警 告
100Vの専用コンセントに根元まで確実に差し込む

左右0.5cm以上

⚠警 告
感電防止のためにアース（接地）をする

調節脚（左右）は矢印の方向に回すと前上がりになります。

据え付け

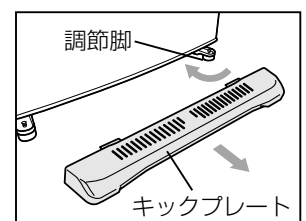
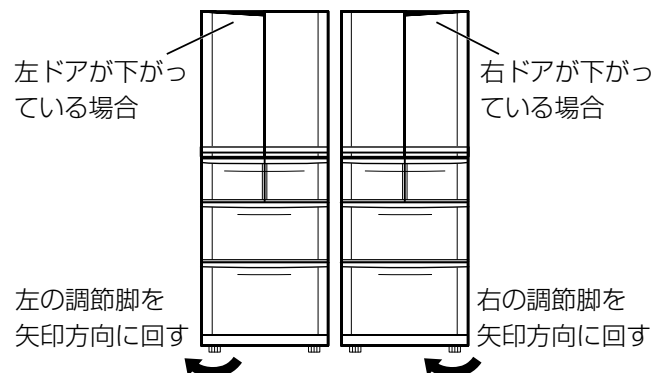
熱気の少ない、風通しの良いところ
冷却力低下を防ぎ、電気代のムダをなくすため、コンロの横、直射日光の当たるところは避けてください。

湿気の少ないところ
錆の発生や漏電を防ぎます。

最小必要設置スペースをあける
冷蔵庫は食品を冷やすため、周辺に熱を放出しています。図のように、上面5cm左右0.5cm以上あけて設置してください。なお最小必要設置スペースは年間消費電力量の測定条件での寸法とは異なります。
※壁際に設置され、冷蔵室扉が開かない場合は、壁から2cm以上あけてください。

丈夫な床に据え付ける
据え付けが不安定ですと、振動、騒音や故障の原因になります。また、じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などの上では、冷蔵庫の熱により変色することがあります。底に丈夫な板を敷いてください。

転倒防止用ベルトをかける
地震などで、冷蔵庫が倒れるとけがの原因になります。背面のフックにベルトを通して、壁や柱に固定してください。（冷蔵庫転倒防止用ベルトは別売品です。お買上げの販売店にご相談ください。）

水平に固定する
両側の調節脚を回し必ず床につけ、水平に設置してください。キックプレートは手前に引いてはずし、もとの位置に取り付けてください。

ドア平行度の調節について

• 正しく安全な据え付けで、冷蔵庫は快適運転できます。

● アースをする

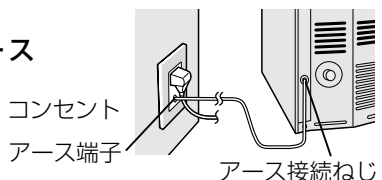
万一の感電事故防止のため、アース（接地）をおすすめします。
次の場所に据え付けるときは、お買上げの販売店に相談して、必ずアース工事をしてください。
（アース工事は、有料です。）

●土間や洗い場の床など水気のある場所
●地下室など、漏水や湿気により、露が付く恐れのある場所
●その他、湿気や水気のある場所

アース線接続のしかた

アース線（別売）は背面下部にあるアース接続ねじに接続してください。

●コンセントにアース端子がある場合

コンセント
アース端子
アース接続ねじ

●コンセントにアース端子が付いていないとき
お買上げの販売店に依頼し、アース工事（D種接地工事）をしてください。

アース線は次のものには絶対に接続しないでください。
● 水道管 ● ガス管（爆発の危険があります。）
● 電話のアース線や避雷針（落雷のとき大きな電流が流れ、危険です。）

●漏電しゃ断器の取り付け
特に水気の多い場所に据え付ける場合は、アースのほか漏電しゃ断器の設置が義務付けられています。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。

使用開始

据え付けが完了したら、さあ～、運転です。

① 庫内を清掃します。

付属部品を確認し、柔らかい布で庫内を清掃。
（庫内は、使う前にプラスチックのにおいがすることがありますが、冷えれば消えます。）

② 専用コンセントに接続します。

電源は100V、定格15A以上のコンセントに、根元まで確実に差し込む。

③ 十分冷えてから食品を入れます。

通常は2～3時間、夏場など周囲温度の高いときは、4時間以上待ってから。
（冷えるまでは扉の開閉をひかえてください。）

●冷蔵庫が壁にふれて振動音がするときや、壁材が黒く変色する場合は（圧縮機周辺の空気の対流によります）、冷蔵庫を壁から離してください。
●腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯など錆びやすい場所に設置すると、配管パイプが腐食して冷えなくなることがあります。このような場所に設置する場合は、防せい処理をおすすめします。お買上げの販売店にご相談ください。
●冷蔵庫の据え付け状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れることがあります。このようなときは、冷蔵庫からできるだけ離してください。また、冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

ノンフロン冷蔵庫について

●この冷蔵庫にはノンフロン冷媒とノンフロン発泡断熱材を使用しています。
ノンフロン冷媒（イソブタン）とノンフロン発泡断熱材（シクロペンタン）は、オゾン層を破壊せず地球温暖化に対する影響が極めて小さい、地球環境に配慮した物質です。
●ノンフロン冷媒は可燃性です。「冷却回路」に密封されており、通常のご使用において漏れ出すことはありませんが、万一、冷媒回路を誤って傷付けてしまった場合、火気（電気製品）などの使用を避け、窓を開けて換気してください。その後、お買上げの販売店へご連絡ください。

上手な使いかた

食品を上手に入れて節電しましょう

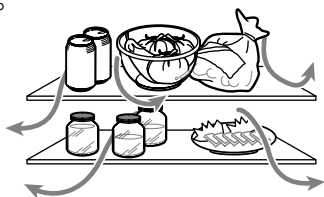
洗って、ふいて

野菜など、洗えるものは洗い、水気をふき取る。ビン類や包装類の汚れは、ふき取ってから貯蔵。

さましてから

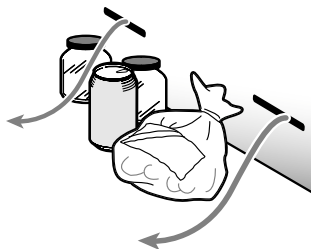
室温までさましてから入れると、庫内の温度を上げず、節電になります。

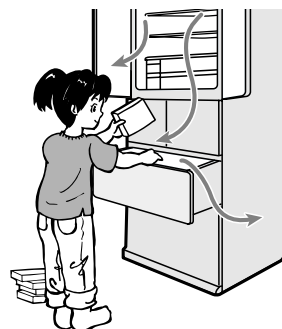
すき間をあけて

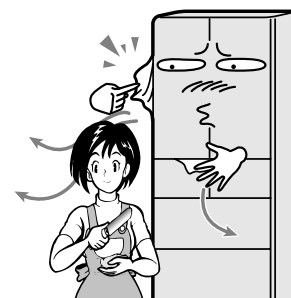
つめすぎると冷気の循環が悪く、冷えにくくなります。

小分けして

１回分ずつ小分けして入れると、使うとき便利で、すばやく取り出せます。

冷気の吹出口をふさがない

奥の壁から食品を離して入れ、冷気の循環をよくします。

扉の開閉はすばやく

節電のため、食品の出し入れは効率よく、手短に。

扉に物（ラップやビニール袋など）をはさまない

わずかなすき間でも、冷気流出のもと。

冷やしすぎない

温度調節位置を必要以上に“強”のままにしておかない。

冷やす必要のないものは入れない

冷凍に向かない食品例

生卵・ゆで卵：生卵は殻が割れ、ゆで卵は白身が固くなります。
生の葉菜類・生のいも類・乳製品・マヨネーズ・野菜・豆腐・こんにゃくなど

冷蔵に向かない食品例

バナナ・メロン・パイナップル・アボガド・パパイヤなどの暖かい地方で取れた果物：低温のため、熟成が進みにくくなり、変質することもあります。
なお、食べる前に冷やすことは差しつかえありません。

食品の貯蔵場所と温度調節

冷蔵室（約3～5℃）、冷蔵室扉（約5～7℃）

調理済み食品・冷蔵小物・調味料・牛乳・ビール・ジュースなど（上段は、それぞれ1～2℃高めになります。）

コントロールパネル

フレッシュルーム（約−1～2℃）

刺身・鮮魚・肉
サラダ・ヨーグルト・練り製品・漬け物など

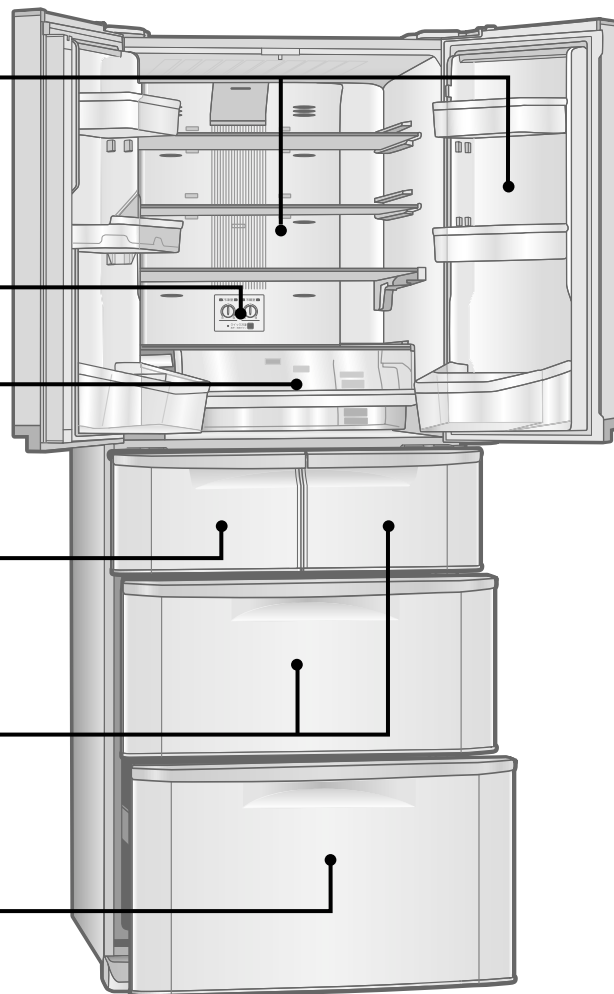
アイスルーム

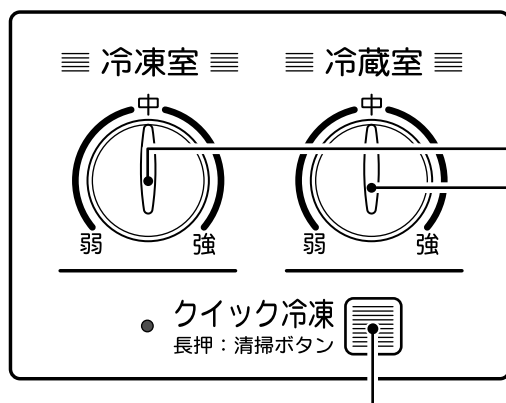
におい移りの少ないアイスルーム

冷凍室（約−18～−20℃）

冷凍食品・アイスクリーム・ホームフリージングした食品など

野菜室（約6～8℃）

野菜・果物類・ビン類・缶類・ペットボトル・調味料など

● 温度を変えたいときは・・・下の表を参考に、つまみで調節してください。

冷蔵室、冷凍室の温度調節は、冷蔵室奥にあるコントロールパネルの温度調節つまみで調節してください。

冷凍室	強	「中」より2～3℃低くなります。
	中	約−18～−20℃
	弱	「中」より2～3℃高くなります。

冷蔵室	強	「中」より2～3℃低くなります。
	中	約3～5℃
	弱	「中」より2～3℃高くなります。

「クイック冷凍」ボタンの使いかたは、11ページ参照
「長押：清掃」ボタンの使いかたは、14、15ページ参照

●普段はコントロールパネルの温度調節つまみを「中」の位置でお使いください。
●冷蔵室の温度調節を「強」側にしても、冷蔵室の冷えが弱いことがあります。
　⇨このときは、冷凍室の温度調節を、「強」側にします。
●冷凍室の温度調節を「弱」にしておくと、他の室の温度が高めになることがあります。
　⇨このときは、冷蔵室の温度調節を、「強」側にします。
●フレッシュルームの温度は、周囲温度や冷蔵室温度調節の位置により変わることがあります。
●表中の温度は、庫内のほぼ中央の値です。扉の開閉や食品の入れ具合により変わります。

測定条件　・・・周囲温度30℃、食品を入れずに扉を閉じ、庫内温度が安定したときの値です。

冷蔵室の使いかた

※冷気の通路に脱臭フィルターを配置。庫内のにおいを吸着・分解し清潔に保ちます。

● じ ざ い 棚

●広い棚で使う

●半分の棚で使う

手前の棚を押し込むと、手前には背の高い食品、奥には小物が置けます。

●棚全体をたたんで使う

さらに回転させ、後ろに立てると、大きな食品などが置けます。

⚠注意 食品をつめすぎたり、棚より前に出さない。
扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、けがをすることがあります。

●冷気吹出口（冷蔵室奥のスリット）付近では、食品が凍結することがあります。
吹出口から離して貯蔵してください。

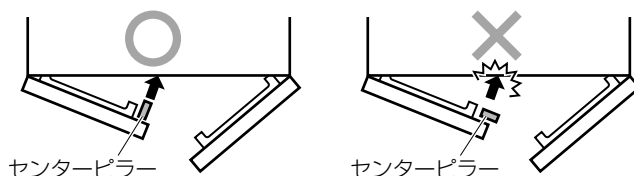
●周囲温度が5℃以下になったとき、冷蔵室の食品が凍結することがあります。
⇨このときは、冷蔵室の温度調節を「弱」にすると凍りにくくなります。

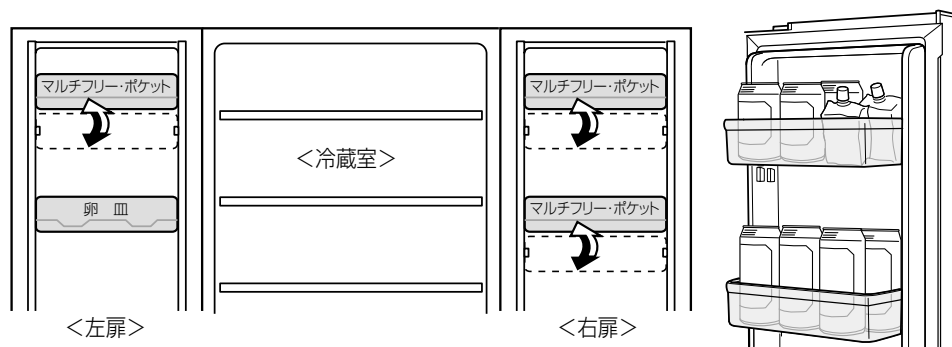
●扉ポケットの上段（マルチフリー・ポケットなど）に、背の高い食品を入れないでください。
扉の開閉で倒れることがあります。

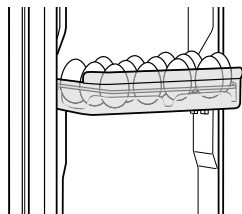
●庫内のにおいを吸着・分解する脱臭フィルターがフレッシュルーム奥に付いていますが、におい移りや乾燥を防ぐため、においの強い食品、水気の多い食品はラップして貯蔵してください。

●フリーケースを下にセットした場合、給水のため音のすることがあります。
気になるときは、製氷ユニットをはずしてお使いください。（16ページ参照）

● センターピラー

●センターピラーは扉を開くとたたまれ、そのまま開閉します。
また、センターピラーを起こしたまま、扉を閉めると破損する恐れがあります。

● マルチフリー・ポケット

●すべて上下2段階に調節できます。
●500mlの缶ビールやミニペットボトル、調味料類もまとめて置けます。

● 卵皿／卵ポケット

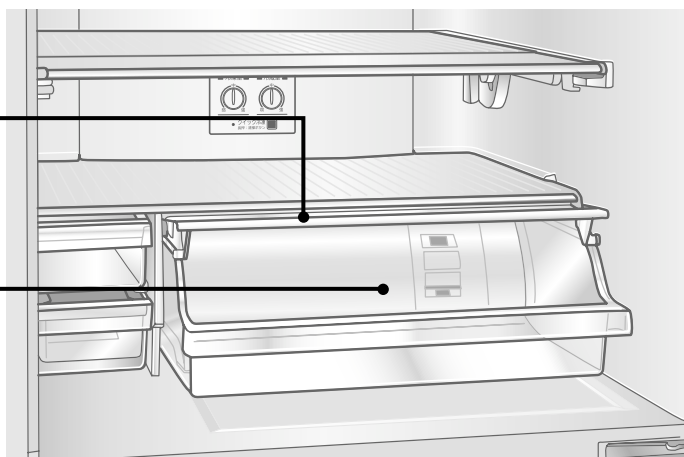
●LLサイズの卵が14個入ります。卵皿を裏返すと、小物類が置けます。
●10個入りパックを、そのまま入れて使用することもできます。

● ボトル&ドレッシングポケット

●奥には2Ｌのペットボトル、手前には牛乳パック、ドレッシング類が入ります。

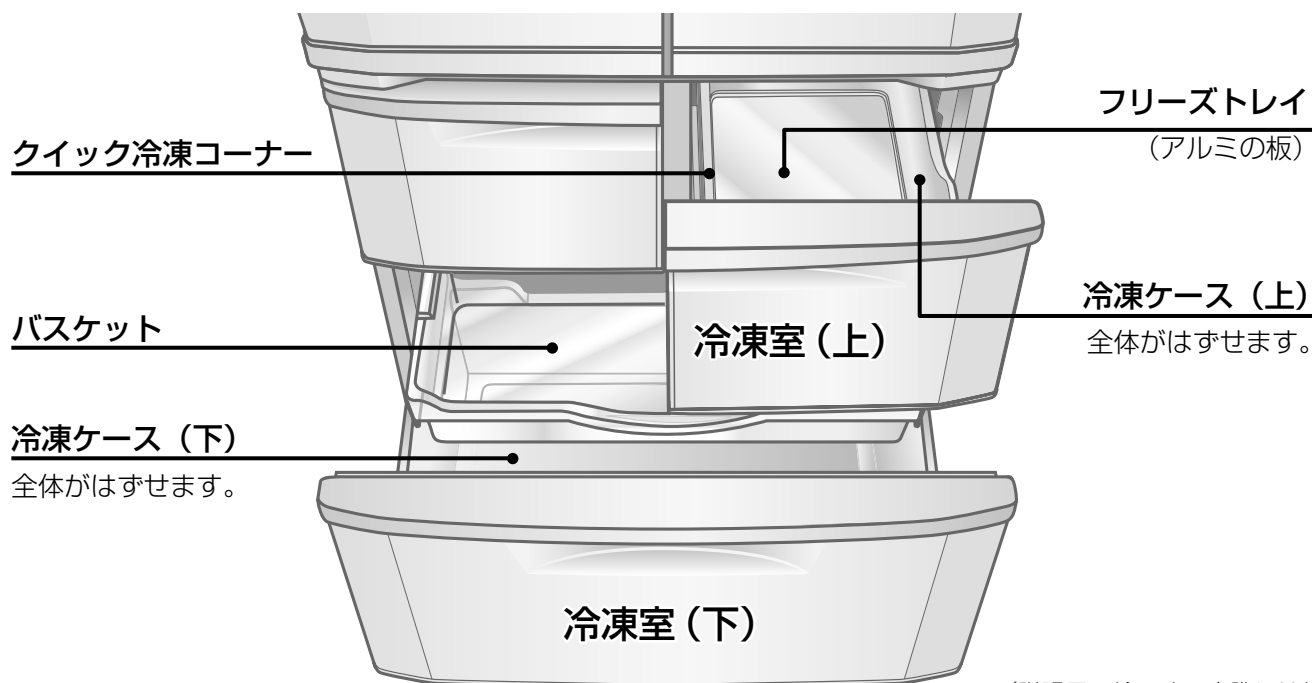
● フレッシュルーム

冷凍はしたくないけれど、冷蔵室よりも長く保存したい。
そんな食材は、凍る直前の温度で、食品の活きのよさを保つフレッシュルームへ。解凍の手間もいらず、鮮度も長持ち、肉・魚介類の貯蔵にぴったりです。

フレッシュルーム扉
確実に閉じてお使いください。

フレッシュルームトレイ
トレイを引くと、フレッシュルーム扉が開きます。
トレイは奥まで確実に押し込んでください。

●水気の多い食品をフレッシュルームの奥（冷気吹出口付近）に貯蔵しないでください。凍結することがあります。
●水分の多い食品はラップしてください。ラップをしないと、フレッシュルームの天井などに露が付くことがあります。
●フレッシュルームが冷えすぎるときは、冷蔵室の温度調節を「弱」側に調節してください。

冷凍室の使いかた

旬のおいしさを、長く楽しみたい。そのような食材は、冷凍室で長期保存を。
上の冷凍室でホームフリージング、下の冷凍室は保存用に。

（説明用の絵です。実際には絵のようには引き出せません。）

● クイック冷凍のしかた：「クイック冷凍」ボタンは冷蔵室内のコントロールパネルにあります。

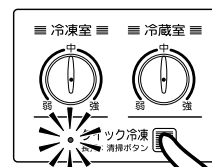
このようなときに

●まとめ買いしたものをそのままフリージング
●下ごしらえして作りおき
●旬のものを長く食べたい

フリージングのポイント

●新鮮な材料を選ぶ
●手・容器・材料は清潔に
●薄く小さく、小分けして
●容器は金属製で底の平らなものが効果的
●袋物は中の空気を抜き、密閉する
●再凍結させない

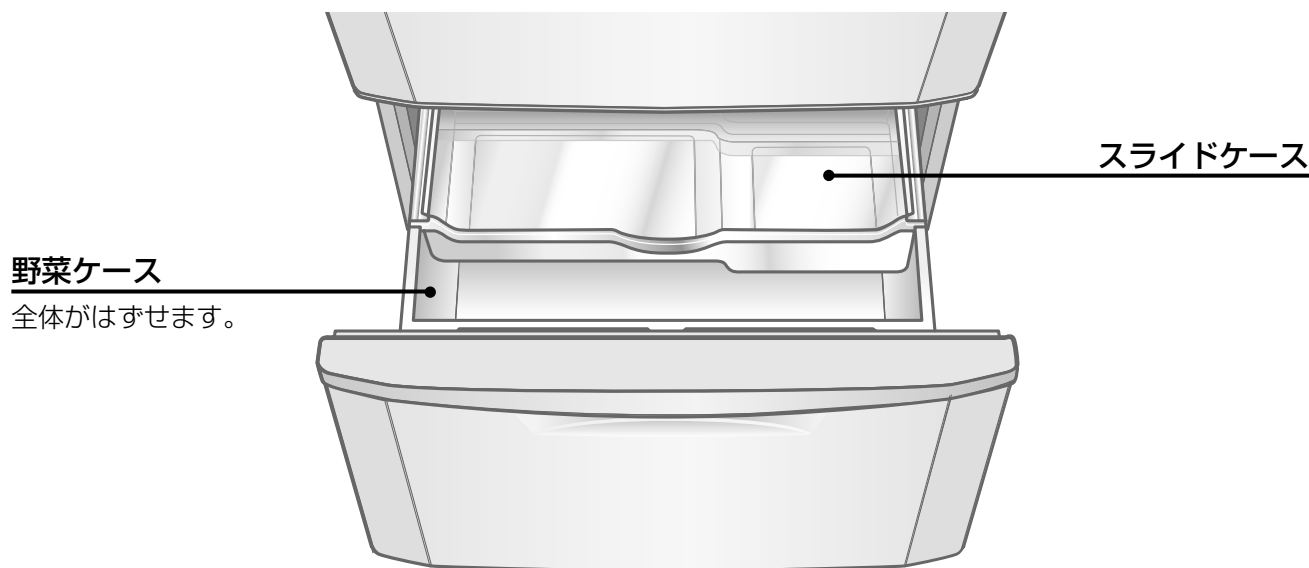
1. **食品を冷凍ケース（上）のフリーズトレイ（アルミの板）にのせる**

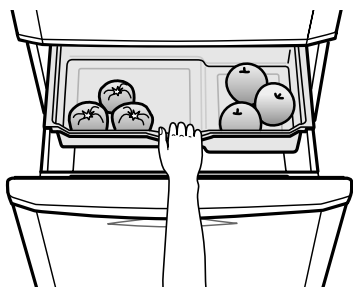
2. **「クイック冷凍」ボタンを押す**：
ランプが点灯し、約150分間クイック運転を行います。終わるとランプは消えます。
途中で中止したいときは、もう一度「クイック冷凍」ボタンを押してください。

⚠注意

冷凍室にビン類や缶類を入れない。中身が凍って割れ、けがをすることがあります。
冷凍室内の食品や容器（特に金属製）、フリーズトレイに、ぬれた手でさわらない。凍傷になる恐れがあります。

●バスケットの下に背の高い物は入れないでください。
（バスケット・ケースや食品が破損することがあります。）

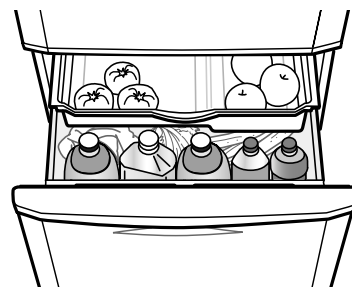
野菜室の使いかた

ビタミンや植物繊維の多い新鮮野菜の貯蔵は野菜室へ。

● スライドケース

つぶれやすいトマトや小さい果物・野菜の収納に便利です。

● 野菜ケース

奥には大きめの野菜や果物が入ります。

● その他

スライドケース手前には、2Lのペットボトル、醤油や牛乳パックが立てて収納できます。

●水洗いした野菜は、水気をよくきってから入れましょう。
●野菜ケースの底に溜まった水は、ふき取ってください。
●周囲温度が5℃以下になったとき、野菜室の食品が凍結することがあります。
⇨このときは、冷蔵室の温度調節を「弱」にすると凍りにくくなります。

○野菜や果物は、ラップして貯蔵すると、新鮮さがさらに長持ちします。
また、においの強い食品からのにおい移りを防ぎます。
○野菜室は湿度を高く保っているため、露が付くことがあります。露が付いたときはふき取ってください。

アイスルーム（自動製氷機）の使いかた

給水タンクに水を入れ、セットするだけで、貯氷コーナーに氷がたっぷり。
給水タンクの水は、一週間を目安に交換してください。

給水タンク

浄水フィルター付
（水道水に含まれるカルキ臭を吸着します。）

製氷ユニット

貯氷コーナー

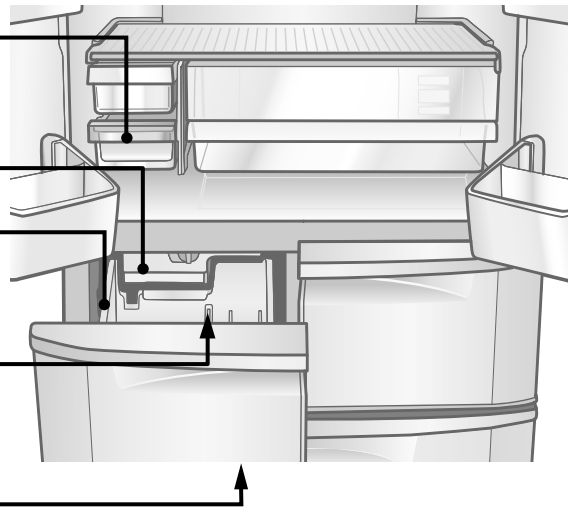
貯氷量は「氷の保存について」を参照してください。仕切りの右側へは冷凍食品やアイスクリームの保存ができます。

仕切り

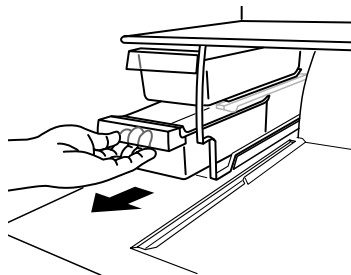
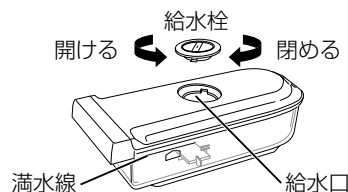
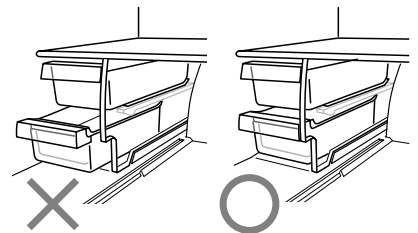
氷をたくさんストックしたい場合は、仕切りを右へ移し氷の量に応じて3段階にセットできます。

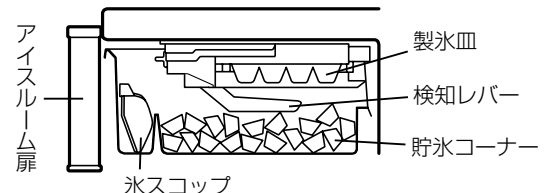
氷スコップ

使用後は、貯氷コーナー手前の所定の場所に戻してください。

※冬場など自動製氷しないとき、製氷ユニットと給水タンクをはずして使う（その部分に食品を収納する）ことができます。
※製氷ユニット、給水タンクを冷蔵庫の外で保管する場合、ほこりが付かないように保管してください。

● 氷のつくりかた

使いはじめや、１週間以上使わなかったときは、においやほこりが付いていることがありますので、最初の氷（約30個）は捨ててください。
また、製氷皿と給水経路を洗うとすぐにお使いいただけます。（14、15ページ参照）

1. **給水タンクをはずす：**
手前を少し持ち上げて引き出す。

2. **給水栓を開けてはずし、『満水線』まで ゆっくり水を入れ給水栓を閉める：**
（満水線以上に水を入れると、周りから水が漏れます。）

3. **給水タンクは落ち込むまで確実に押し込む：**
押し込み不足ですと、給水しません。

● 氷の保存について

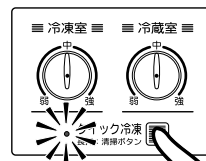
●貯氷量は、検知レバーが自動的に確認します。
（貯氷量を正しく確認するため、氷は平らにならしてください。）
仕切りが左側で約120～130個、仕切りを右端にすると、より大量にストックできます。
●一定量になると、製氷を停止します。
（構造上、氷は貯氷コーナーいっぱいにはなりません。）

○次のようなとき、製氷時間が長くなることがあります。
※設置当初は庫内温度が一定温度になるまで、自動製氷機の給水は行われません。
使いはじめ5～6時間、夏場の暑いときは、24時間以上かかることがあります。
※大量の食品を入れたときや、扉の開閉がひんぱんなとき。
※周囲の温度が低い冬場や、真夏の暑いとき。
○周囲の温度が低い冬場などは、給水タンクの水が凍ることがあります。（16ページ参照）
○給水タンクがカラ（使用していない）のときにも、プランジャーの動作音がすることがあります。異常ではありません。

● 長期間使わないとき／冷蔵庫を移動・運搬するとき

長期間（１週間以上）使わないときや移動・運搬するときは、給水タンクの水、貯氷コーナーの氷を捨て、水洗いし、乾燥させてください。

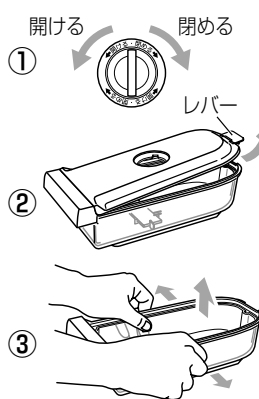
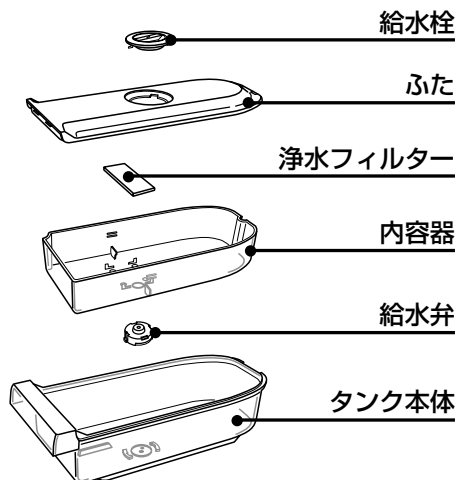
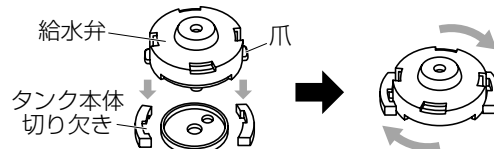
1. **給水タンクを取り出す**
2. **冷蔵室内のコントロールパネルにある「長押：清掃」ボタンを「クイック冷凍」ランプが点滅するまで（約6秒間）押す**：氷ができていなくても、製氷皿が回転し、氷または水が貯氷コーナーに落ちます。
3. **「クイック冷凍」ランプが消えたら（約１分後）、アイスルーム扉を引き出す**：貯氷コーナーを取り出し、氷・水を捨てる。
4. **給水タンクの各部品を水洗いし、乾燥させてから、元に戻す**：浄水フィルターは水気を含んでいるので、十分に乾燥させてください。

自動製氷機のお手入れ

つづく

給水タンクや給水経路の部品は、無機系抗菌剤の入った部品を使用していますが、雑菌やにおいの発生を抑え、おいしい氷を楽しむために週に一度は必ずお手入れをしてください。
お手入れ不足で「水あか」や「ぬめり」が付くと、カビやにおいの発生の原因になります。

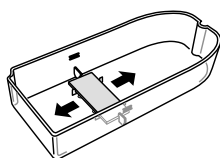
● 給水タンク・内容器・ふた

●はずして柔らかいスポンジで水洗いする。（タワシやクレンザーなどの傷の付くものは使用しない。）
●落ちにくい汚れは、食器洗い用中性洗剤を薄めて使い、使用後は必ず洗剤を洗い落とす。

給水栓を開けてはずす。（左図 ①）
レバーを横に広げ、**ふた**をはずす。（左図 ②）
内容器は内側から外側へ押すようにして、上へ引き出す。（左図 ③）
給水弁を反時計方向に回してはずす。
※給水弁の取り付けは、タンク本体の底面の切り欠きに給水弁の爪を合わせ、軽く押し込み時計方向に回す。

※取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行ってください。ふたの爪をタンクの角穴に合わせ、ふたを斜めに差し込んで閉め、レバーをかける。

※給水弁の汚れが気になるときは、食器洗い用中性洗剤を薄め、つけ置き洗いをしてください。
※給水弁は重要部品です。分解したり、紛失しないようにしてください。

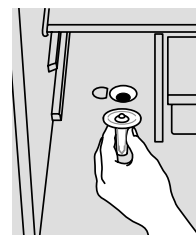
● 浄水フィルター

●浄水フィルターは水洗いする。
洗剤やスポンジは使わない。
フィルターを破くようなものを使ったり、もみ洗い、つまみ洗いはしないでください。

※浄水フィルターは内容器爪の横方向（矢印）にスライドさせ取り出し、取り付ける。

浄水フィルターの交換

●交換の目安は、3～4年です。氷のにおいが気になるときは、早めの交換を。（お求めは、お買上げの販売店へ）
●フィルターが破れたときは使用しないで、交換してください。

● 給水パイプ・プランジャー

●給水パイプ・プランジャーは水洗いする。給水タンクを取り出し、タンクの下にある給水パイプとプランジャーを取り出す。

※給水タンクをはずして使用するときも、必ず給水パイプにプランジャーを挿入し元の位置にセットする。セットが不十分ですと、冷蔵庫の食品が凍る場合があります。
※プランジャーには磁石が入っています。磁気による損傷を受けやすいものには近付けないでください。

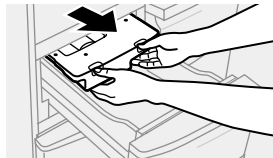
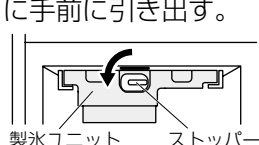
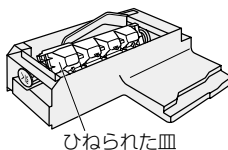
自動製氷機のお手入れ

● 製氷皿・・・2つのお手入れ方法

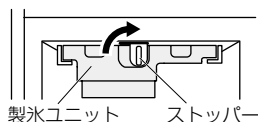
1. 念入りお手入れのしかた・・・ 製氷ユニットを取り出し、製氷皿をはずして水洗い

● 製氷ユニットのはずしかた

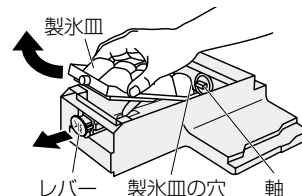
製氷皿の水が凍っていない場合、水がこぼれることがあるので、貯氷コーナーの氷や食品などは、全て取り出してください。

1. ストッパーを下図のように回してロックをはずしてから、製氷ユニットをできるだけ傾けないように手前に引き出す。

2. 製氷皿の水または氷を捨てる。
※自動製氷機は、氷ができると製氷皿をひねって氷を落とす動作をします。はずしたとき、製氷皿がひねられている場合は、いったん製氷ユニットを所定の位置に戻して、アイスルーム扉を閉め、製氷皿がまっすぐになるまで待ってから（約1分後）、製氷ユニットをはずす。

※製氷皿の付け忘れや、皿の取り付けがひねられていたり、逆だった場合、製氷しませんので、取り付けを確認してください。

＜製氷ユニットの付けかた＞
奥まで確実に押し込んだ後、下図のようにストッパーを回してロックさせてください。
※所定の位置まで押し込まないとストッパーは回りません。
※製氷ユニットを付けるとき製氷皿はカラでセットしてください。

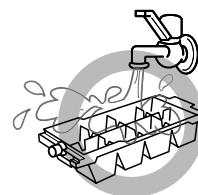
製氷ユニット　ストッパー

● 製氷皿のはずしかた

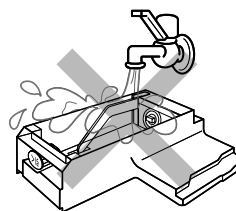
1. 製氷ユニットを裏返して置く。

2. レバーを矢印の方向に引いて、製氷皿を持ち、少したわませて斜め上方向にはずす。

＜製氷皿の付けかた＞
はずしかたと逆の手順で、レバーを矢印の方向に引いて、製氷皿の穴を製氷ユニットの軸に合わせて、押し込んでからレバーを戻してください。

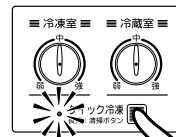
● 製氷皿を洗う

製氷皿は水洗いできます。

タワシやクレンザーなどの傷の付くものは使用しないでください。

製氷ユニットは水洗いできません。

製氷ユニットがぬれている場合は、乾いた布でふいてください。
※電気部品に水が入ると製氷できなくなります。

2. 簡易お手入れのしかた・・・ 清掃ボタンによる水洗い

貯氷コーナーの氷や食品などは、全て取り出してください。

1. 給水タンクに新しい水を入れ、冷蔵室の所定の位置に取り付ける。
2. 冷蔵室内のコントロールパネルにある「長押：清掃」ボタンを「クイック冷凍」ランプが点滅するまで（約6秒間）押す。
氷ができていなくても、製氷皿が回転し、氷または水が貯氷コーナーに落ち、給水タンクから製氷皿に給水します。
3. 「クイック冷凍」ランプが消えたら（約1分後）、再度「長押：清掃」ボタンを押す。
4. 3を2〜3回繰り返す。
5. アイスルーム扉を開け、貯氷コーナーを取り出し、氷・水を捨てる。

●ミネラルウォーター、井戸水や塩素分を取り除いた水（アルカリイオン水、浄水器の水など）で製氷すると、より「水あか」や「ぬめり」が付きやすくなりますので、ひんぱんにお手入れしてください。
●みがき粉（クレンザー）･粉石けん･アルカリ性洗剤･タワシ･ベンジン･シンナー･アルコール･石油・酸・熱湯などは、プラスチックが割れたりしますので、使用しないでください。
●製氷ユニットのセット後は、1回目の製氷まで約4時間かかることがあります。また、お手入れ後でお急ぎの場合は「長押：清掃」ボタンを約6秒間押すと、約2時間で氷ができます。

こんなときには・・・もう一度確認してください。

状況	調べる	理由・処置
製氷しない	●給水タンクに水が入っていますか？	水を入れる。
	●給水タンクが奥まで、正しく押し込んでありますか？	奥まで正しく取り付ける。
	●給水タンクの水が凍っていませんか？	給水タンクを取り出し、氷を取り除く。冷蔵室の温度調節位置を「弱」側に合わせる。
	●製氷ユニットは正しくセットされていますか？	製氷機ストッパーはロックできるまで押し込む。また、レバーは音がするまで押し込む。
	●給水パイプかプランジャーだけではありませんか？	給水パイプとプランジャーをセットにして入れる。
	●クイック冷凍ランプが点滅(パッパッ…)していませんか？	自動製氷機のお手入れを参照し、製氷皿の取り付けを確認する。
製氷量が少ない、氷が小さくなる	●扉をひんぱんに開閉していたり、開けたままにしていませんか？	扉を閉じ、開閉をひかえる。
	●貯氷コーナーの氷が凸凹になっていたり、氷以外のものが入っていませんか？	氷を平らにならし、氷以外は除く。
	●給水タンクが奥まで、正しく押し込んでありますか？	給水タンクが落ち込むまで確実に押す。
氷がにおう	●給水タンクの水は古くないですか？	新しい水を入れる。
	●給水タンク、浄水フィルターが汚れていませんか？	掃除をする、浄水フィルターを交換する。
	●においの付いた水や飲み物を入れたことはありませんか？	自動製氷機のお手入れを参照する。
	●浄水フィルターをはずして製氷していませんか？	浄水フィルターを取り付ける。
	●氷を長い間貯氷コーナーに入れたままにしていませんか？	食品などのにおいが移ることがあります。
氷がとけている、とけたことがある	●扉をひんぱんに開けたり、長時間開けたままにしていませんか？	扉を閉じ、開閉をひかえる。
	●停電や電源プラグが抜けていませんか？	電源を確認する。
氷がつながっている	●冷蔵庫が傾いていませんか？	水平に設置する。水平でないと、つながった氷や大きさの異なる氷ができることがあります。
氷が丸くなる	●長期間、貯氷したままにしていませんか？	氷が昇華して丸く小さくなったり、くっつくことがあります。
氷に突起ができる	●氷に突起がありませんか？ (図：氷の突起)	製氷皿に水路を設けているため、氷に突起ができます。
水ににごりがある	●ミネラルウォーターなどで、製氷していませんか？	ミネラル分の多い水で製氷すると、白色の浮遊物ができることがあります。害はありません。
給水タンクから水がこぼれる	●給水タンクの底から水が漏れていませんか？	タンク本体、内容器、給水弁を正しくセットする。
	●給水弁部に異物やゴミがありませんか？(とがった大きな氷ができる)	給水弁、給水タンクを掃除する。
音がする	●氷が貯氷コーナーに落ちるときの音ではありませんか？	貯氷コーナーに氷が少ないとき、氷の落下音が大きくなることがあります。
	●給水タンク部でフリーケースを使用していませんか？	自動製氷を使わないとき、製氷ユニットを付けたまま給水タンク部でフリーケースを使用すると「コツン」とプランジャーがフリーケースに当たる音がすることがあります。その場合は、製氷ユニットをはずす。

お手入れと付属品のはずしかた

●清潔にお使いいただくため、月に一度はお手入れしてください。
●貯蔵食品は取り出してください。
●はずした棚やポケット類は水洗いできます。
●取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行ってください。

⚠警告	お手入れするときは、電源プラグを抜いてください。また、ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。
	冷蔵庫に直接水をかけないでください。錆びたり、漏電や故障の原因になります。

⚠注意	冷蔵庫の底面に手を入れないでください。金属の角などで、けがをすることがあります。

● お手入れの方法

●軽い汚れはカラぶきをする。
●落ちにくい汚れは

1. 薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、ふき取る。（原液を使用すると、プラスチックが割れることがあります。洗剤の薄めかたは、その注意書に従ってください。）
2. 食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤をふき取る。
3. カラぶきをし、水気をふき取る。

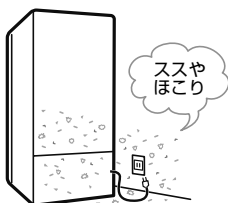
● お手入れのポイント

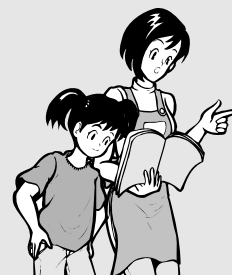
庫内
水を含ませた布で、上面、側面、下側へとふき、カラぶきする。プラスチック部品に付いた食用油、バターなどの油脂類は、必ずふき取る。付いたままでは、割れることがあります。

コントロールパネル部
柔らかい布でカラぶきする。水をかけないでください、故障の原因になります。お手入れ後は、温度設定位置などが動いていないか確認する。

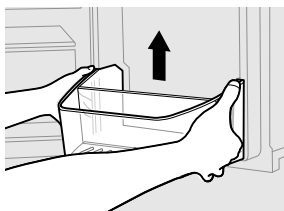
扉パッキング
扉パッキングにジュースや食品の汁が付くと、ベト付き、傷みやすくなります。下側のパッキングが、特に汚れやすいので、念入りに清掃を。

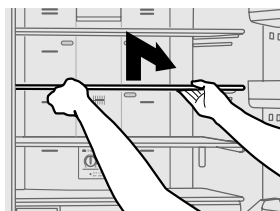
ケース類
ふき取るか、ときどきケース全体を取り出して水洗いしてください。（特に、野菜ケースの汚れは、においやカビが発生しやすくなります。）

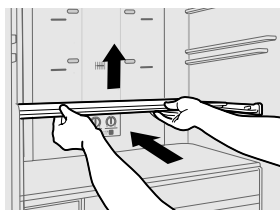
冷蔵庫背面／床／壁（年1回程度）
調節脚が床から浮くまで回し、傷付きやすい床の場合は、保護のため板などを敷いて、冷蔵庫を静かに前に引き出す。掃除機などで背面、床、壁の汚れやほこりを掃除する。
※背面、床、壁は空気の対流により、ほこりが溜まったり、黒く汚れやすいところです。

お手入れ後の安全点検

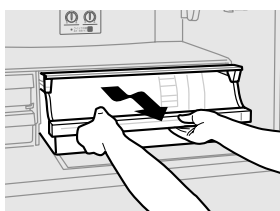
●電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか？
●電源コードにきれつや、すり傷はありませんか？
●電源プラグに異常な発熱がありませんか？
・・・電源コード・プラグの傷付きや、ほこりが溜まっていると、感電や火災の原因になります。もし、不審な点があれば、電源プラグを抜いて、お買上げの販売店にご連絡ください。

●みがき粉（クレンザー）・粉石けん・アルカリ性洗剤・タワシ・ベンジン・シンナー・アルコール・石油・酸・熱湯などは、塗装面や扉パッキングを傷めたり、プラスチックが割れたりしますので、使用しないでください。化学ぞうきんを使用するときは、強くこすらないで、化学ぞうきんの注意書に従ってください。

冷蔵室扉ポケット

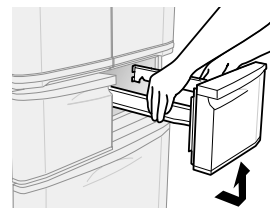
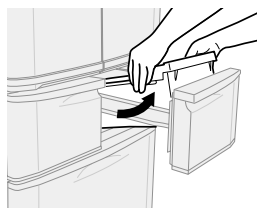
両手で持って、上方に突き上げて、はずす。
※卵ポケットは、手前上部を引きながら、後ろの爪からポケットをはずし、上方向に突き上げて、はずす。

高さ調節棚

棚の手前を持ち、後ろを持ち上げながら引き出す。

じざい棚

手前の棚を少し持ち上げながら奥へ押し込む。棚を重ねたまま持ち上げてはずす。

フレッシュルームトレイ

ストップするまで手前に引き、トレイの手前を持ち上げながら、さらに引き出してはずす。

貯氷コーナー・アイスルーム扉／冷凍ケース（上）・冷凍室扉（上）

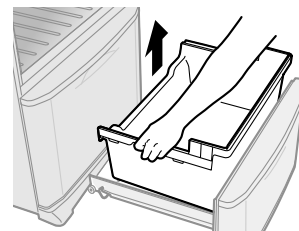
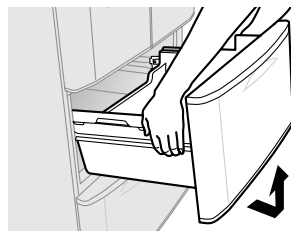
1 扉をストップするまで手前に引き出す。
ケースの左右を持って斜め上に取り出す。

2 左右のレールを持って手前を持ち上げながら、扉全体を取り出す。

冷凍ケース（下）・冷凍室扉（下）／野菜ケース・野菜室扉

1 扉をストップするまで、手前に引き出し、バスケットを斜め上に取り出す。

2 左右のレールを持って、手前を持ち上げながら、ケースごと取り出す。

3 扉をはずした後、ケースを持ち上げてはずす。

こんなときには

移動・運搬をするとき
～必ず電源プラグを抜いてください～

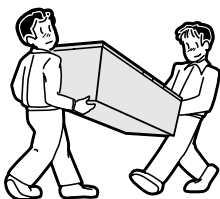
■ **移動・運搬する前に**

1. 庫内の食品を取り出し14ページの「長期間使わないとき／冷蔵庫を移動・運搬するとき」を参考にして、自動製氷機の氷や水を捨てる。
2. 5ページを参考にして、左右の調節脚を床から浮かせ車輪を床に付ける。
3. 後ろ側下部にあります排水パイプのキャップをはずし、蒸発皿の水（霜取り水）を捨ててください。

※排水後は、漏水しないようにキャップを確実に締めてください。

■ **移動・運搬のしかた**

1. 車輪を使い、前後に動かせます。
（傷の付きやすい床では、車輪を使わないでください。）
2. 運搬は、必ず底面と背面上部のとっ手（手かけ部）を持ってください。
（手をすべらせ、けがをすることがあります。）

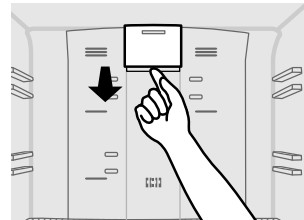
3. 転宅などで運搬するときは、横積みしないでください。故障の原因になります。

※この冷蔵庫は50／60Hz（ヘルツ）共用です。

保冷枕など市販の寒冷剤を冷蔵庫に入れるとき

袋の破れに注意してください。破れて硝安、尿素などの中身が漏れると、錆や故障の原因になります。

庫内灯の交換

⚠警告 感電を防止するため、必ず電源プラグを抜いてください。

1. 電源プラグを抜く。
2. 冷蔵室の高さ調節棚をはずす。
3. 庫内灯カバー下側中央を手前に引いてはずす。

庫内灯電球は販売店でお求めください。
型名：「110V 10W ガラス球形式T20、
口金E－12」

※冷蔵室扉を5分間開放しますと、庫内灯は自動的に消灯します。

電源プラグを抜いて再び差し込むとき

5分以上、間をおいてください。すぐに差し込むと、圧縮機に無理がかかり、故障の原因になります。

停電のとき

庫内温度が上がらないように、扉の開閉をひかえ、食品を新たに貯蔵しないでください。

長期間使わないとき

食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し2～3日間扉を開け乾燥させてください。

仕　様

種　類	冷凍冷蔵庫
品　番	SR−F401K
定格内容積	401L（冷蔵室 208L　冷凍室 115L（68L）　野菜室 78L（55L））
外形寸法（ハンドル含まず）	幅650mm×奥行き635mm×高さ1798mm
定格電圧・周波数	100V・50／60Hz
電動機の定格消費電力	120／120W
電熱装置の定格消費電力	152／152W
消費電力量	冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示
冷凍室の性能	✳✳✳✳（フォースター）
質　量	83kg

※定格内容積の（　）内は「食品収納スペースの目安」です。
※製品改良のため、仕様が変わることがあります。ご了承ください。
※本品は、日本国内家庭用の製品です。他用途には使用しないでください。また、国外での使用はできません。
（FOR USE IN JAPAN ONLY）

● 冷蔵庫の定格内容積について

●定格内容積は、日本工業規格（JIS C 9801）に基づき、庫内部品の内、冷やす機能に影響なく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。この定格内容積には、食品収納スペースと冷気循環スペースとを含みます。
●引き出し式貯蔵室（野菜室、冷凍室）の場合、定格内容積と併せ食品収納スペースの目安を表示しています。なお、回転扉式冷凍室の食品収納スペースについては、冷気の循環を考慮して定格内容積の65％程度を目安としてください。食品の詰め込み過ぎは、庫内の冷えむらや電気のムダの原因となります。

● 付属品

	品名	数量
冷蔵室	高さ調節棚	2
冷蔵室	じざい棚	1
冷蔵室	フレッシュルームトレイ	1
冷蔵室	フリーケース	1
冷蔵室	給水タンク	1
冷蔵室	給水パイプ	1
冷蔵室	プランジャー	1
冷蔵室	マルチフリー・ポケット（右）	2
冷蔵室	マルチフリー・ポケット（左）	1
冷蔵室	卵皿	1
冷蔵室	卵ポケット	1
冷蔵室	ボトル＆ドレッシングポケット（右）	1
冷蔵室	ボトル＆ドレッシングポケット（左）	1
アイスルーム	貯氷コーナー（ケース）	1
アイスルーム	製氷ユニット	1
アイスルーム	仕切り	1
アイスルーム	氷スコップ	1
冷凍室	冷凍ケース（上）	1
冷凍室	フリーズトレイ	1
冷凍室	冷凍ケース（下）	1
冷凍室	バスケット	1
野菜室	野菜ケース	1
野菜室	スライドケース	1
	キックプレート	1
	調節脚	2

● 庫内温度の計りかた

冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理の下で生産していますが、庫内の温度は、冷蔵庫の据え付け状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、中の食品は8割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。従って、一般の空気温度を計る温度計では変化の少ない食品温度の測定ができません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す冷蔵庫用温度計を発売しています。なお、一般のアルコール温度計で冷蔵庫内の食品相当温度を計る場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mlの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。

● 自動霜取り

霜取りの操作は不要です。
●霜取り水は蒸発皿に溜めて、蒸発させます。
●霜取り時も食品を取り出す必要はありません。

この商品はJIS（日本工業規格）に基づいて、製造されています。
JISでは霜取り中及び霜取り終了後の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇が5℃以下であることと規定されています。

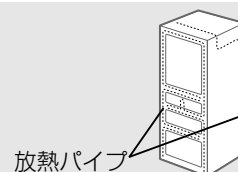
故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

状況	調べる	処置方法
全く冷えない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●ブレーカーや電源ヒューズが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？	確実に差し込む。 扉を開け、庫内灯がつくか確認する。
冷えが弱い	●温度調節が「弱」のままではありませんか？ ●食品のつめ過ぎや熱いものが入っていませんか？ ●ひんぱんに扉を開けたり、食品の袋などがはさまり扉にすき間ができていませんか？ ●直射日光が当たったり、そばにコンロやガスレンジがありませんか？ ●周囲の風通しが悪くはありませんか？	「中～強」にする。 熱いものは冷ましてから入れる。 扉を確実に閉める。 熱源から離して設置する。 すき間を開け、風通しをよくする。
冷蔵室・フレッシュルーム・野菜室の食品が凍る	●温度調節が、「強」のままではありませんか？ ●周囲の温度が5℃以下ではありませんか？ ●水気の多い食品を棚の奥（冷気の吹出口付近）に入れていませんか？	「中～弱」にする。 「中～弱」にする。 手前に入れる。
音がうるさい	●床が弱く、ゆがんでいませんか？ ●据え付けが悪く、ガタついていませんか？ ●壁にふれていませんか？ ●周囲に物が落ちて、ビビリ音を出していませんか？	丈夫な板を下に敷く。 調節脚で調節する。 壁から離す。 取り除く。
庫内のにおいが気になる	●冷気の吹出口や吸込口がふさがっていませんか？ ●においの強い食品をラップしないで入れていませんか？	ふさがない。 ラップする。

以上のことを調べて、それでも具合が悪いときは、お買上げの販売店または最寄りの「お客さまご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

これは故障ではありません

状況	理由
時々運転音が高くなることがある	●この冷蔵庫はインバーターコンプレッサーを採用しています。据え付け時、扉開閉が多いとき、周囲温度が高いとき、またクイック冷凍中は高速運転に切替わりますので少し音が高くなることがあります。
水の流れるような音（チョロチョロ）や沸とうするような音（ボコボコ）がする	●冷蔵庫を冷やす液（冷媒）が流れる音です。 停止中も出ることがあります。
きしむような音（ビシッ）がする	●庫内のプラスチック部品が膨張や収縮して、発生する音です。
運転音や氷の落ちる音がする	●給水中のプランジャーの動作音。製氷皿が回転するときのモーター音。 ●氷が貯氷コーナーに落ちる音。 ●圧縮機は運転開始時しばらくの間、音が大きくなります。
冷蔵庫の外側や扉パッキングに露が付く	●梅雨など湿度の高いときに付くことがあります。 これは、冷水を入れたコップの外側に水滴が付くのと同じです。 露は乾いた布でふき取ってください。
冷蔵庫の前面や側面が熱く感じる	●夏場や運転の初めには特に熱く感じます。これは冷蔵庫への露付きを防止するパイプや放熱パイプが組み込まれているからです。 庫内食品には影響ありません。

保証とアフターサービス

使用中に異常が生じたときは、安全のため電源プラグを抜き
お買上げの販売店に修理を依頼してください。

● 知らせていただきたいこと

①故障の状況（できるだけ詳しく）
②品番
③製造番号
④お買上げ年月日
（②～④は保証書に記入してあります。）
⑤お名前・おところ・電話番号
⑥訪問日

● アフターサービスでお困りの場合

●お買上げの販売店か最寄りの“お客さまご相談窓口”にご相談ください。
●転居や贈答品でお買上げの販売店のアフターサービスが受けられないときは、最寄りの“お客さまご相談窓口”にご相談ください。

● 保証書（別添付）

●この商品には保証書が付いています。
●販売店が所定事項を記入してお渡ししますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●なお、食品の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。

● 保証期間

●お買上げ日から１年間です。
ただし、冷媒循環回路（圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管・配管）冷気循環用ファン及びファンモーターは5年間です。

● 保証期間中の修理は

●修理の際には、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従い販売店が修理させていただきます。

● 保証期間が過ぎている時の修理は

●お買上げの販売店にご相談ください。
修理をすれば使用できる場合は、お客さまのご希望により有料修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間

●当社は、この冷蔵庫の補修用性能部品を製造打切後、9年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

冷凍室（フリーザー）の性能
この冷蔵庫の冷凍室の性能は、＊＊＊＊（フォースター）です。

フリーザーの性能は、日本工業規格（ＪＩＳ Ｃ ９６０７）に定められた方法で試験したときの、フリーザー内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しております。

●ＪＩＳの試験方法は次の通りです。
1．冷蔵室内温度が、0℃以下とならない範囲で最も低い温度になるよう温度調節して試験します。
2．冷蔵庫の据え付け場所の温度は15～30℃の範囲を基準としています。
3．冷凍室定格内容積100Ｌ当たり4.5kgの食品を24時間以内に－18℃以下に凍結できる冷凍室を、フォースター室としています。

記　号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下
冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

●冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、上の表の期間は一応の目安です。

お客さまご相談窓口

◆総合相談窓口　三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間　9：00〜18：30

家電製品についての全般的なご相談は、最寄りの下記電話番号にお問い合わせください。

◆北海道地区　札幌 ☎ (011) 290-1522
◆東北地区　仙台 ☎ (022) 714-6137
◆関東地区　東京 ☎ (03) 3815-1111
◆中部・北陸地区　名古屋 ☎ (052) 533-5245
◆近畿・四国地区　大阪 ☎ (06) 6994-9570
◆中国地区　広島 ☎ (082) 297-6067
◆九州・沖縄地区　福岡 ☎ (092) 461-8022

郵便・ＦＡＸでご相談される場合は

◆三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX（06）6994-9510

■修理相談窓口

受付時間　月曜日〜金曜日　9：00〜18：30
土曜・日曜・祝日　9：00〜17：30

修理や部品に関するご相談は、お買上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。

三洋コンシューママーケティング株式会社

東コールセンター　東京 ☎ (03)5302-3401
西コールセンター　大阪 ☎ (06)4250-8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

■北海道地区　札幌 ☎ (011) 833-7888
■東北地区　仙台 ☎ (022) 382-2213
■長野地区　長野 ☎ (0263) 26-1772
■新潟地区　新潟 ☎ (025) 285-2451
■福島地区　福島 ☎ (024) 945-6811

西コールセンターへの転送電話番号

■北陸地区　金沢 ☎ (076) 237-6650
■東海地区　名古屋 ☎ (052) 979-3456
■中国地区　広島 ☎ (082) 293-9333
■四国地区　高松 ☎ (087) 844-8321
■九州地区　福岡 ☎ (092) 922-9311

■沖縄地区　沖縄 ☎ (098) 944-5018
受付時間　月曜日〜土曜日(日曜、祝日および当社休日を除く)
9：00〜12：00、13：00〜17：30

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引渡すことが求められています。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

愛情点検　長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

このような症状はありませんか？

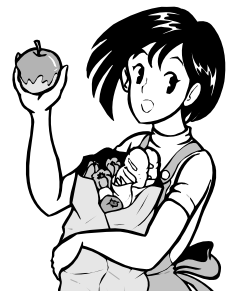
■電源コード、プラグが異常に熱い。
■電源コードに深い傷や変形がある。
■焦げくさいにおいがする。
■冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
■ビリビリと電気を感じる。
■その他の異常や故障がある。

使用を中止してください

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

お客さまメモ

購入年月日、購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

品番	
購入年月日	年　月　日
購入店名	TEL（　　）　−

三洋電機株式会社
ホームエレクトロニクスグループ
HAカンパニー
冷蔵庫統括ビジネスユニット
〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田１丁目１番１号

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

2FB6P101329002